

2019年5月31日

第7期活動報告書

1. 日本支部の概要（2019年5月31日現在）

- ・役員数 12名（資料②役員名簿参照）
- ・会員数 1,048名（前年総会報告時1,048名）

2. 活動報告

1) 共催

【首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 平成30年度 第1回シンポジウム】
（第19回パブリックカンファレンス）

テーマ：「レジリエンス力を高めるフレームワーク ―企業・自治体の取り組みに学ぶ―」

日時：2018年6月22日（金）10:00 - 12:10

会場：全国町村会館 2階ホール（東京都千代田区永田町1-11-35）

主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所

参加者数：153名

<プログラム>

ご挨拶 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長 竹内 英

はじめに 「初年度から 2 年目にむけて～デ活における産官学民連携の進捗～」

【大阪府北部の地震の教訓】

首都圏レジリエンスプロジェクト総括 平田 直

（東京大学地震研究所 教授）

本日の主旨 研究者より 「組織がレジリエンス力を高めるために必要なこと」

首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ(a)統括 田村 圭子

（新潟大学危機管理室 教授）

プレゼンテーション 企業より

- 1) 「津波被災を乗り越え、あらゆる危機に強い企業になるために」

株式会社白謙蒲鉾店 常務取締役 白出 雄太

- 2) 「内作“小さなBCP”構築マニュアルで、グループ全体の事業継続力強化」

株式会社リコー 内部統制室 リスクマネジメント部 部長 荻原 毅

自治体より 「セーフコミュニティの枠組みに基づく安全・安心なまちづくり」

厚木市協働安全部

セーフコミュニティくらし安全課 係長 新倉 準

パネルディスカッション 「レジリエンス力を高めるフレームワーク」

パネリスト：白出氏、荻原氏、新倉氏

防災科研 気象災害軽減イノベーションセンター長補佐 中村 一樹

モデレーター：田村圭子（サブプロ(a)統括）

おわりに 上石勲（サブプロ(a)統括）

【首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 第2回シンポジウム】

（第20回パブリックカンファレンス）

テーマ：「マルチデータインテグレーションシステムによる首都圏の詳細な地震動の把握に向けて」

日時：2018年9月19日(水) 10:00 - 12:10
会場：全国町村会館 2階ホール(東京都千代田区永田町1-11-35)
主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所
参加者数：173名

<プログラム>

ご挨拶 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長 竹内 英

はじめに

首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 平田 直(東京大学地震研究所 教授)

プレゼンテーション

企業より 1) 「東京電力における地震観測とデータ利用の現状」

東京電力ホールディングス株式会社

経営技術戦略研究所 技術開発部 主席研究員 植竹 富一

2) 「発災時の建物安全度判定支援システム「q-NAVIGATOR」の展開」

株式会社 小堀鐸二研究所

構造研究部次長 日下 彰宏

研究者より 1) 「スマートフォンによる揺れの観測」

首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ(b) 分担責任者

東 宏樹(防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門 特別技術員)

2) 「官民連携の地震観測データを統合する

マルチデータインテグレーションシステムの開発」

首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ(b) 総括 青井 真

(防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター長/

地震津波防災研究部門 総括主任研究員)

パネルディスカッション 「多様なデータの統合による社会的な共通価値の創出に向けて」

パネリスト：植竹氏、日下氏、青井 真(サブプロ(b) 総括)

東 宏樹(サブプロ(b) 分担責任者)、ほか

モデレーター：平田 直(プロジェクト総括)

おわりに 会員証授与

上石 勲(サブプロ(a) 総括)

【首都圏レジリエンスプロジェクト データ利活用協議会 第3回シンポジウム】

(第21回パブリックカンファレンス)

テーマ：「災害拠点となる建物に要求される耐震性能」

日時：2019年12月5日(火) 10:00 - 12:00(開場:09:30)

会場：全国町村会館 2階ホール(東京都千代田区永田町1-11-35)

主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所

参加者数：176名

<プログラム>

ご挨拶 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長 竹内 英

はじめに 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 平田 直(東京大学地震研究所 教授)

プレゼンテーション

「首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロジェクト(c)

非構造部材を含む構造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備について」

サブプロ(c)統括 西谷 章（早稲田大学 教授）

「災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定について」

サブプロ(c)課題2 分担責任者 楠 浩一（東京大学地震研究所 教授）

研究者より

1) 「災害拠点建物の地震被害」

サブプロ(c)課題2 分担研究者 向井 智久

（国立研究開発法人 建築研究所構造研究グループ 主任研究員）

2) 「災害拠点建物のための新しい耐震設計法」

首都大学東京 准教授 壁谷澤寿一 氏

3) 「非構造材の被害と耐震設計法」

国土技術政策総合研究所

建築研究部 材料・部材基準研究室 室長 脇山善夫氏

企業より 「災害拠点建物の設計例」

株式会社 日建設計 エンジニアリング部門 技術センター 技師長 深井 悟 氏

パネルディスカッション

「巨大地震時に要求される災害拠点建物の耐震性能と実地震での

応答モニタリングの利活用について」

パネリスト : 壁谷澤氏、脇山氏、深井氏、西谷、向井

サブプロ(c)統括 梶原 浩一

（国立研究開発法人 防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター長）

サブプロ(c)課題2 分担研究者 日比野 陽（広島大学大学院 工学研究科 准教授）

モデレーター：楠

おわりに 上石勲（サブプロ(a)統括）

【首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト 平成30年度 成果報告会】

（第22回パブリックカンファレンス）

テーマ：「首都圏のレジリエンス向上のため「励むべきこと」は何か」

日時：2019年2月28日（木）13:30-17:30

会場：伊藤謝恩ホール（東京大学伊藤国際学術研究センター内）

（東京都文京区本郷7丁目3-1）

参加者数：314名

<プログラム>

データ利活用協議会 総会

ご挨拶 文部科学省 研究開発局 局長 佐伯浩治

（第Ⅰ部）プロジェクトにおける本年度（平成30年度）の成果

「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクトの全体像」

プロジェクト総括 平田 直（東京大学 地震研究所 教授）

サブプロ(a)「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクトに資するデータ利活用に向けた連携体制の構築」

サブプロ(a)統括/防災科研(NIED) 上石 勲

サブプロ(b) 「官民連携による超高密度地震動観測データの収集・整備」
サブプロ(b)統括/防災科研(NIED) 青井 真

サブプロ(c) 「非構造部材を含む崩壊余裕度に関するデータ収集・整備」
サブプロ(c)統括/防災科研(NIED) 梶原 浩一

「本日の第Ⅱ部、第Ⅲ部、来年度にむけて」
プロジェクト総括 平田 直
白鷗大学 客員教授 / 元 TBSキャスター 下村 健一

(第Ⅱ部)本年度の注目研究「データ利活用が紡ぐ新たな価値の創造Ⅱ」

サブプロ(a) データ利活用分科会の試み
「地震動データの地震対応への活用～お客様に一日も早く安心をお届けするために～」
東京海上日動火災保険 総務部災害対策室 鶴飼 章弘
東京海上日動リスクコンサルティング 企業財産本部 リスク定量化第一ユニット 林 孝幸
サブプロ(a)統括/新潟大学 田村 圭子

サブプロ(b) データ利活用分科会の試み
「集客施設で地震観測する理由～成田国際空港との連携」
デ活企業・統括/東京大学 酒井 慎一

サブプロ(c) データ利活用の試みの試み「高層ビルのゆれの把握と安全性」
「建物のゆれの把握にまつわるあれこれ」 株式会社 小堀鐸二研究所 日下彰宏

「建物のモニタリング：安全性判定、事業継続可否判定の枠組みについて」
サブプロ(c)統括/早稲田大学 西谷 章

(第Ⅲ部)パネルディスカッション 「首都圏のレジリエンス力向上のため『励むべきこと』は何か」
話し手 : 日原 洋文(一般財団法人 日本不動産研究所 理事長/元内閣府政策統括官(防災担当))
平田 直(国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究センター
センター長/東京大学地震研究所 教授)
聞き手 : 下村 健一(白鷗大学 客員教授 / 元TBSキャスター)

おわりに 上石勲(サブプロ(a)統括)

意見交換会(17:30-19:30 東京大学伊藤国際学術研究センター 多目的スペース)

3) 参加

【第25回ICS推進研究会】

開催日時: 2019年2月21日(木) 9:00~11:00

開催場所: 衆議院第1議員会館 会議室第3会議室

<次第>

1. あいさつ 林 春男 氏(会長)
務台俊作 氏(衆院議員)
2. 話題提供

- 1) サニー・カミヤ氏（日本防災教育訓練センター 代表理事）
- 2) 明石 真言氏 （量子科学技術研究開発機構 執行役）

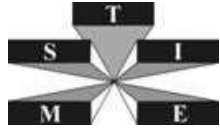
4) 情報発信活動

- メールリスト管理を行い、適宜情報の発信、共有化を図った。
- 新建新聞社発行の「リスク対策.com」（電子版）を会誌として、情報発信の場とした。
- facebook上にTIEMS日本支部のページをつくり、会員間の情報交流の場とした。

5) その他

- 理事会の定期開催（2018年10月24日（第15回））

以上



国際危機管理学会(TIEMS)日本支部役員名簿

2019年5月31日現在

	氏名	所属	役職名
代表理事	林 春男	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	理事長
理事 (事務局長)	牧 紀男	国立大学法人 京都大学防災研究所	教授
監事	藤縄 幸雄	株式会社ミエルカ防災	技術顧問
理事	武田 文男	国立大学法人政策研究大学院大学	客員教授
理事	渡辺 研司	国立大学法人 名古屋工業大学大学院	教授
理事	田村 圭子	国立大学法人 新潟大学 危機管理本部 危機管理室	教授
理事	井ノ口宗成	国立大学法人 富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	准教授
理事	田代 邦幸	ミネルヴァベリタス株式会社	東京支社長
理事 (会計担当)	田中 秀宜	日本ミクニヤ株式会社	代表取締役
理事 (広報担当)	中澤 幸介	株式会社新建新聞社	取締役 リスク対策.com 主筆
理事	土門 寛	日本ミクニヤ株式会社	経営企画室室長



国際危機管理学会（TIEMS）日本支部
第7期 収支報告書

自 2018年5月1日 至 2019年4月30日

（単位：円）

1.収入の部

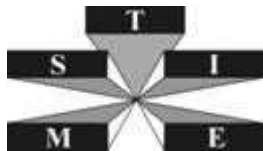
項目	予算額①	決算額②	予算差異(②-①)	備考
事業収入	390,000	0	▲ 390,000	
資料代（パブリックカンファレンス）	90,000	0	▲ 90,000	
助成金	300,000		▲ 300,000	
			0	
その他収入	100	46,481	46,381	普通預金利息他
前期繰越金	547,363	547,363	0	
収入合計（A）	937,463	593,844	▲ 343,619	

2.支出の部

項目	予算額①	決算額②	予算差異(②-①)	備考
事業支出	720,000	39,977	▲ 680,023	
パブリックカンファレンス開催費用	650,000	0	▲ 650,000	
交通費	0	0	0	
事務通信費	20,000	0	▲ 20,000	
諸雑費	50,000	39,977	▲ 10,023	2018年学会メンバー会費
その他支出	10,000	6,500	▲ 3,500	海外送金手数料・振込手数料
支出合計（B）	730,000	46,477	▲ 683,523	

3.当期収支差額（次期繰越金）

（A） - （B）	207,463	547,367	339,904	
-----------	---------	---------	---------	--



監査報告書

TIEMS 日本支部

代表理事 林春男 殿

私は、2018年5月1日から2019年4月30日までの活動及び収支の監査を行い、次の通り報告します。

1 監査の方法の概要

- (1) 活動監査について、理事会に出席し、理事から活動の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて活動執行の妥当性を検討しました。
- (2) 収支監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。

2 監査結果

- (1) 活動報告書は、法令及び規約に従い、会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 収支報告書は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは規約に違反する重大な事実は認められません。

以上

2019年5月31日

TIEMS 日本支部

監事 藤縄幸雄



第8期活動計画及び予算計画書

1. 活動計画

1) 主な活動

当会のパブリックカンファレンスの開催については、2017年度よりスタートしたデータプラットフォーム拠点形成事業(防災分野)「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」(forR)のオープンなフォーラムに共催する形で開催を継続していく。

<共催>

2019年5月8日(水) 13:15-17:00

「<米国ハリケーン・ハービーに関する現地調査報告会>

産業集積・新興住宅地域ヒューストンを襲ったハリケーン・ハービー

～テキサス型レジリエンスの正体～

会場：関西大学東京センター（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9F）

主催：国土交通省、内閣府、関西大学社会安全学部

（第23回パブリックカンファレンス）

6月28日(金) 【forR】首都圏レジリエンスプロジェクト 第1回シンポジウム
（第24回パブリックカンファレンス）

9月25日(水) 【forR】首都圏レジリエンスプロジェクト 第2回シンポジウム
（第25回パブリックカンファレンス）

12月 4日(水) 【forR】首都圏レジリエンスプロジェクト 第3回シンポジウム
（第26回パブリックカンファレンス）

2020年2月28日(金) 【forR】首都圏レジリエンスプロジェクト 第4回シンポジウム
（第27回パブリックカンファレンス） (成果報告会)

2) 外部プロジェクト・学会・シンポジウム等への参加

- ・都市総合防災研究会（代表 林春男（防災科学技術研究所 理事長））との連携。
- ・ICS推進研究会（代表 林春男（防災科学技術研究所 理事長））との連携。
- ・政策研究大学院大学（武田文男先生）との連携

3) 情報発信活動

- ・メーリングリスト管理を行い、適宜情報の発信、共有化を図る。
- ・新建新聞社発行の「リスク対策.com」（電子版）を会誌として、情報発信の場とする。
- ・facebook上にTIEMS日本支部のページをつくり、会員間の情報交流の場とする。

4) その他 ・理事会の定期開催（開催日未定）

2. 予算計画

1) 収入

(単位：円)

項目	予算額(案)	備考
資料代(パブリックカンファレンス)	90,000	-
その他	100	普通預金利息
前期繰越金	547,367	-
収入合計(A)	637,467	-

2) 支出

項目	予算額(案)	備考	
事業支出	パブリックカンファレンス開催費用	650,000	会場代、資料作成、講師謝礼他
	交通費	0	-
	事務通信費	20,000	-
	諸雑費	50,000	TIEMS本部会費
その他	支出	10,000	海外送金手数料等
支出合計(B)	730,000		

3) 繰越

(A) - (B)	-92,533	-
-----------	---------	---

以上